

# 平成27年度太陽の丘事業報告書

## (1) 施設の概要

- ① 所在地 和歌山県海南市上谷777-1
- ② 利用定員 生活介護：87名 短期入所(空床型)：6名  
施設入所支援：70名  
グループホームふあんふあん：8名  
グループホームかつらぎ荘：3名
- ③ 居室構成 一人部屋(8) 二人部屋(7) 四人部屋(14) 計29室
- ④ 平成27年度の概要

\* 太陽の丘は障害者総合福祉法サービス体系で、「全ては利用者さんのために」のスローガンのもと支援を提供しました。

平成27年度には4名(男性3名：女性1名)が逝去し、男性3名が入所し、平成27年度末の現在員は68名。

## (2) 施設方針

施設方針「リスクマネジメントの充実で、大切な利用者さんを守って、がっちり信頼関係を築き、家族と利用者さんに安心を提供する」に則り、「利用者さんの生命・諸権利を保障」し、なおかつ一人一人の個性を尊重した利用者さんが安心・安全に生き生きと楽しい生活が送れる高品質で多様なサービスを提供し、施設らしさを感じさせない家庭的なサービス提供を行いました。

## (3) 生活支援

「生活の場」としての衣食住の環境の充実を図ると共に、利用者さんの高齢化を念頭に置き、安全安心に生活できる場の提供を行えるように取り組みました。

また日常生活に必要な基本的習慣の自立を目的に、身辺処理・清掃活動に取り組み、更に毎日の積み重ねによって社会的適応性を育成し、地域生活への移行を念頭においた支援に取り組みました。

## (4) 日中活動

### 〔花係〕

花係の所属利用者さんは、21名。活動内容としては、スポーツフェスタで使われるゼッケンをフェスタ協会より委託を受けてのクリーニング作業、保護者会・職員からお持ち頂いた空き缶・新聞紙等のリサイクル作業を主に行いました。そして個々の身体機能や能力に応じたプログラムを作成し、運動レクリエーションとしてラジオ体操やウォーキングに取り組み、怪我や廊下の予防に努め各自にやりがい・生きがいを持ってもらう様な活動支援を提供しました。

## 〔 鳥 係 〕

鳥係の所属利用者さんは、24名。

27年度は次の3つの目標を掲げ、活動に取り組みました。

### ① 「係単独の活動を行って、活動への定着を図る」

今年度は係単独で活動を行うように他の係と協力した結果、係別で行える活動が増えてきています。利用者さんも自分の所属係を自覚して、案内放送が流れたら自分が鳥係だと意識して作業場所へ移動することが徐々に定着出来るようになってきました。

### ② 「活動内容を充実させて、意欲の向上につなげる。」

レクレーションの一つとして同じDVDやビデオを見て貰っていましたが、それをもう少し多様化したものを提供するために海南省児童図書館で貸し出されているDVDと紙芝居を活用して提供しました。特に好評だったのが紙芝居で、支援員が直接話しかけてというものなのでか、皆さん集中して参加し楽しんでくれました。

また作業で取り組むものとして、ブラシの袋詰めのごみ回収作業を導入しました。作業内容等が難しい面もあったんですが、「やりたい」と言う利用者さんの意欲が凄く見られました。他にも、玄関前の清掃及び洗車等にも取り組みました。

### ③ 「外出の機会をつくり、気分転換を図る。」

海南省児童図書館を活用していますが、図書館に利用者さん平均2.3人と職員1名で外出することが定着してきており、今年度は一人平均約3回外出できました。

そして、散歩も活動に取り入れて、体を動かす機会もつくっています。その中で散歩しながら体力を付けて貰って、健康維持・リフレッシュにもつながる活動に取り組みました。また平成28年3月には黒沢牧場への園外活動を実施、利用者さんには特に好評を博しました。

## 〔 宙 係 〕

宙係の所属利用者さんは、23名。

宙係は「体力的な要素」、「知覚的な要素」、「生活的な要素」この3点を軸とし、活動を行いました。

「体力的な要素」としましては、棟内・屋外での軽運動（音楽に合わせて体を動かす・トランポリン・ボール等の遊具を使用して体を動かす・散歩等）を中心に行い、体力の維持に努めました。高齢化が進んできている中、怪我の予防等にもつながるので少しでも体を動かして体力の維持をして頂こうと積極的に取り組んで参りました。

「知覚的な要素」としましてはDVD・音楽鑑賞、カラオケ等にて興味の刺激、感覚に刺激を与えるような活動に取り組みました。

「生活的な要素」としましてはシーツ交換・大掃除・部屋の掃除・衣類などの整理等を中心に行う事により、生活能力の維持・向上を図って参りました。

## (5) 余暇活動支援

余暇活動として、「社会貢献活動」「社会見学（企業見学）」「社会資源活用」などを企画・提案し、全利用者さんに社会に触れる機会を提供することを目標に余暇学習活動に取り組みました。そして利用者さんが、その人らしく生活を営むためには、さまざまな人との関わりを育て深める必要があると思います。施設に閉じこもったままではなく、社会に出てたくさんの刺激を受けて頂けるサービスの提供に取り組みました。

具体的な活動として、従来のプロ野球観戦や宝塚観劇、NGK観覧等の他、和歌山県立自然博物館に見学に行くことを企画し実施しました。また自然博物館に関しては、皆が参加出来るということを取り入れて行ってきました。その他歌謡コンサートは年1回実施の予定となっていたが、予定していたコンサートが日程の都合上行くことが出来ず、来年度に持ち越すことになりました。

## (6) 買物外出・パーソナルプランについて

平成27年度は、多くの利用者さんに外出の機会を提供させて頂くことを目標に取り組んで参りました。

パーソナルプランでは利用者さんの希望を前提に外出して頂き、またドライブ・買物等も行って頂く事で太陽の丘では、感じられない季節・空気感・食事を体験して頂ける取り組みを行いました。

\* 27年度パーソナルプラン／延べ人数：204名

買物外出                   ／延べ人数： 71名

## (7) 看護係

検診関連として年に一回歯科検診を6月に実施。平成28年3月に健康診断・血液検査・胸部レントゲン・尿検査を実施しました。また11月には、インフルエンザの予防接種(11月)を実施しました。日常的には感染予防として、皆さんに手洗いうがいの励行を実施しています。

次に通院についてですが、厚生病院の神経科・内科・外科・整形外科・眼科・泌尿器科、さいとう耳鼻科、吉村皮膚科・宮本病院・和歌浦病院・井内歯科に各種の通院を実施しました。肺炎・腸閉塞・外傷等での入院が10件ありました。

理美容につきましては、男女各月1回実施しております。

## (8) 権利擁護・エチケット委員の選任

毎月4名の職員(経験年数の短い人&長い人各2名)を委員として選任し、その4名を中心に虐待防止の対応・対策及び改善を図り、併せて人権に配慮された対応でサービスを提供しました。

## (9) 年間行事

家族の方々と楽しいひと時を過ごし、交流を深め家族のきずなを確認することと併せ地域の方々との交流を目的に各種の行事を開催しました。(別紙参照)

## (10) 食生活

栄養面だけではなく雰囲気・献立・盛り付け・食器・食事マナーなどに配慮し、月に数回メニューを複数用意し食事選択の自由も考えた食事を提供しました。

また平日の昼食時には、利用者さんを4つのグループに分けて出来立ての副食を温かいうちに味わってもらえる食事を提供しました。

給食会議を開催し、嗜好調査を平成28年1月に実施し、食事の形態に関わる協議を行い、豊かで潤いのある食事の向上に取り組みました。

## (11) 防災管理体制

太陽の丘防災計画に則り次の各種訓練を実施し、利用者さん・職員の火災・自然災害に対する意識向上をめざし防災対策の充実強化に取り組みました。

訓練内容／避難訓練(1回/月)・夜間避難訓練(平成26年8月)

総合防災訓練(平成28年3月：海南市消防署員指導)

普通救命講習(平成28年3月：海南市消防署員指導)

防災設備器具の、維持点検の実施。(平成27年7月・平成28年1月)

## (12) 実習生・ボランティア受け入れ

大学・専門学校より次の通り実習生の受け入れを行い、支援に対する知識・技術やノウハウを提供すると共に知的障害及び福祉施設に対する理解促進に取り組みました。また利用者さんにとって単調になりがちな施設生活の中で、実習生・ボランティアを受け入れることで社会の風に触れる一助となりリフレッシュにつながるサービスの提供を行いました。

\* 平成27年度実習生の受け入れ

4月：南海福祉専門学校(1名)

8月：大阪女子短期大学(3名)

平成28年

2月：京都女子大学(6名)

3月：大阪女子短期大学(3名)

以上